



第4号

センターだより
発行に当たり

地域の皆様方には、益々ご清栄のこととお喜び申し上げます。日頃は、岩村ふれあいセンターに対しまして多大なご支援ご協力を頂きありがとうございます感謝申し上げます。昨年とは広報部を中心にパソコンクラブのご協力を得て、年3号のセンターだよりを発行することが出来ました。本年度も昨年に引き続きセンターだよりを発行してまいります。特に地元ならではの記事を載せたいと思っております。子供のこと、学校のこと、地域のこと、趣味やペットのこと、料理のこと、どんな事でも構いません。原稿を岩村ふれあいセンター玄関に設置してある郵便ポストに投稿をお願いします。

公民館活動

岩村ふれあいセンター運営審議委員は、次の15名で

1年間活動します。

会長；近森孝一(堀ノ内)

副会長；入交満(包末)委員

；中尾武夫(金地)、徳久靖

洋(包末)、藤本眞事(堀ノ

内)、河野通忠(福船)、山崎

由紀(蔵福寺島)、田所崇彦

(金地)、山崎順子(蔵福寺

島)、大塚光伸(JA)、北岡

町子(堀ノ内)、田所秀二

(福船)、中尾香代(金地)、

浜田由佳里(金地)、有瀬真

理(福船)です。よろしく

お願い致します。

岩村ふれあいセンターの18年度事業を紹介します。

1、図書コーナー整理

2、岩村ふれあいセンター

だよりの発行

3、移動学習

4、公民館講座3回

5、親子料理教室

6、子育て支援

7、岩村ふれあい祭り

8、ボウリング大会

以上のことを計画しております。それぞれの事業を行います。それぞれの事業を行うときには、回覧等で連絡いたしますので、ご近所お誘い合わせの上ご参加ください。

岩村ふれあい祭り

本年度は、それぞれの地区より事業費のご負担を頂き有難うございます。

委員総会で協議の上有意義に使わせて頂きます。

第3回岩村ふれあい祭りは9月2日(土曜日)に行います。

楽しく生きるコツ

去る2月17日、公民館講座において曹洞宗 永源寺住職、島崎敬童氏から、「一度の人生、くよくよして生きるより楽しく生きよう！」と、ごく当たり前と思われるがちなことを、さすがお寺の住職！、私たち聴いている者が納得できるようにお話しをいただき、有意義

な時間を過ごすことができました。曹洞宗は禅宗ということで、禅の基本的な呼吸方法などを実際に体験させていただきましたが、すごく気持ちよくなれました。まず、両足を組んで座り、背筋をまっすぐに伸ばし、手は手のひらを上向きにして、というような具合です。そして、息を大きく吸い込み、これを徐々に口から吐き出すことを繰り返して行くと、何だか気持ち悪く落ち着いてくるのは不思議です。また、曹洞宗の願いのひとつを、住職と参加者のキヤッチボールでうまく表現していただき、



和尚さんと熱心に聴講する参加者

楽しい内にも時間を忘れるほど一生懸命になりました。「貴方は、今幸せですか？」と問われても、参加者からは「はい」の言葉が返らないのは不思議ですよね。住職が言うには、人間は今の自分より幸せと思われの人を基準に判断するそうです。自分より幸せな人を見ると、自分は不幸せに見えるようになります。自分より不幸せな人間は、世界にはいくらでもいるはずなので、その人達を基準にすると自分は幸せになれるます。捉え方により「いつも幸せ」になる。それが「楽しく生きるコツ」なんだと教えられました。人間、せっかく生まれてきた以上「楽しく生きる」権利があります。楽しく生きるには、偏見や差別をせず、また、変な決まりに左右されずに生きるのだということ。今回の講座で学んだ気がしますが、これからは、何があっても楽しく生きていこう。そう決心したひと時でした。 田所秀二さん投稿